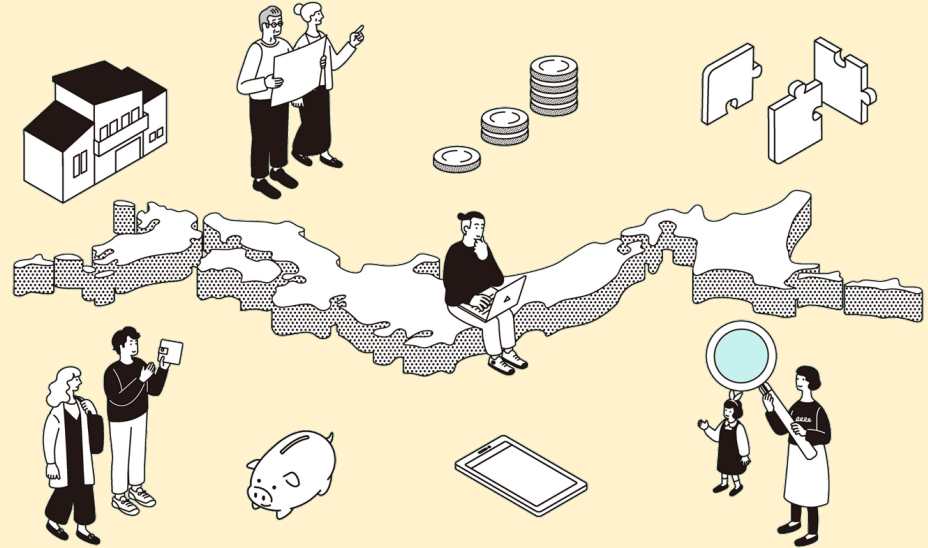


新しいNISA × LIFEプラン



■ 提供者



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 資料作成者

三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

※本資料では、「令和5年度税制改正大綱」等において示された、2024年1月に抜本的拡充・恒久化される予定のNISA制度のことを新しいNISAと呼んでいます。

- 本資料内で使用しているデータについては、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- これから放映される本資料におきましては、過去の実績やシミュレーションが表示されますが、これらは将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託による投資はリスクを負うものであり、投資元本を割り込み、損失を被る可能性があります。
- 投資に関する最終決定はお客様自身のご判断でお願いします。
- 本資料で紹介するNISA活用方法は三菱UFJアセットマネジメントが考える一例であり、全ての人に当てはまるわけではありません。
- 本資料最後の「留意事項」の内容を必ずご覧ください。

<本資料の作成は>

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

身近な値上がり商品

(上段：2013年1月⇒下段：2023年9月)

小麦粉 (1袋・1kg)



225円
↓ +54%
346円

牛肉 (輸入品) (100g)



197円
↓ +64%
323円

食パン一斤 (340g)



140円
↓ +28%
179円

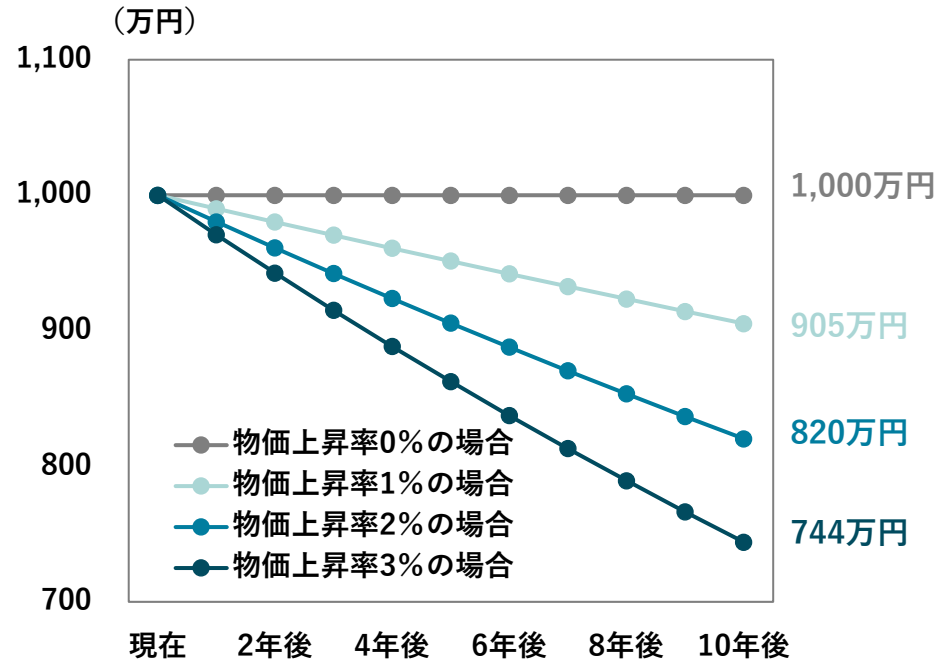
バター (1箱・200g)



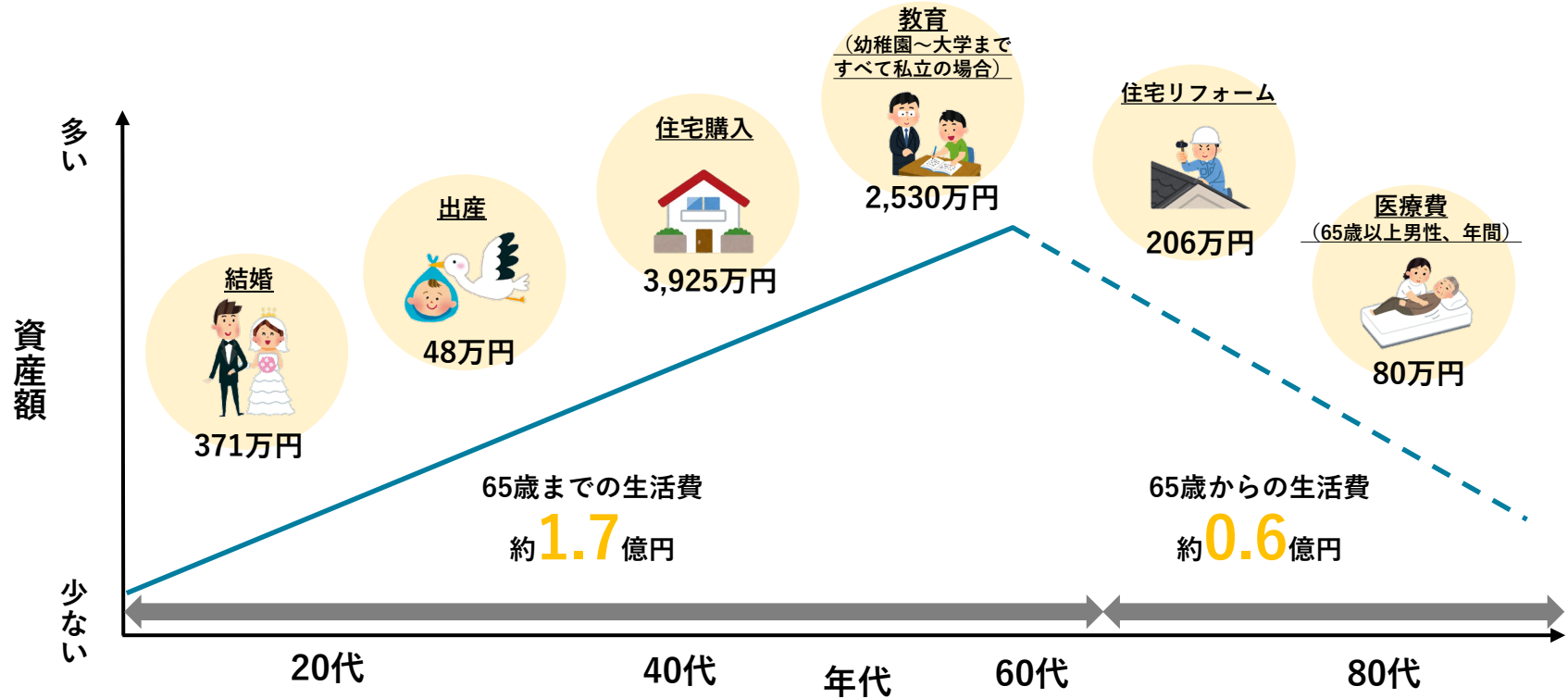
395円
↓ +24%
488円

インフレによるお金の実質的な価値の目減り

物価の上昇による1,000万円の価値の変化 (シミュレーション)

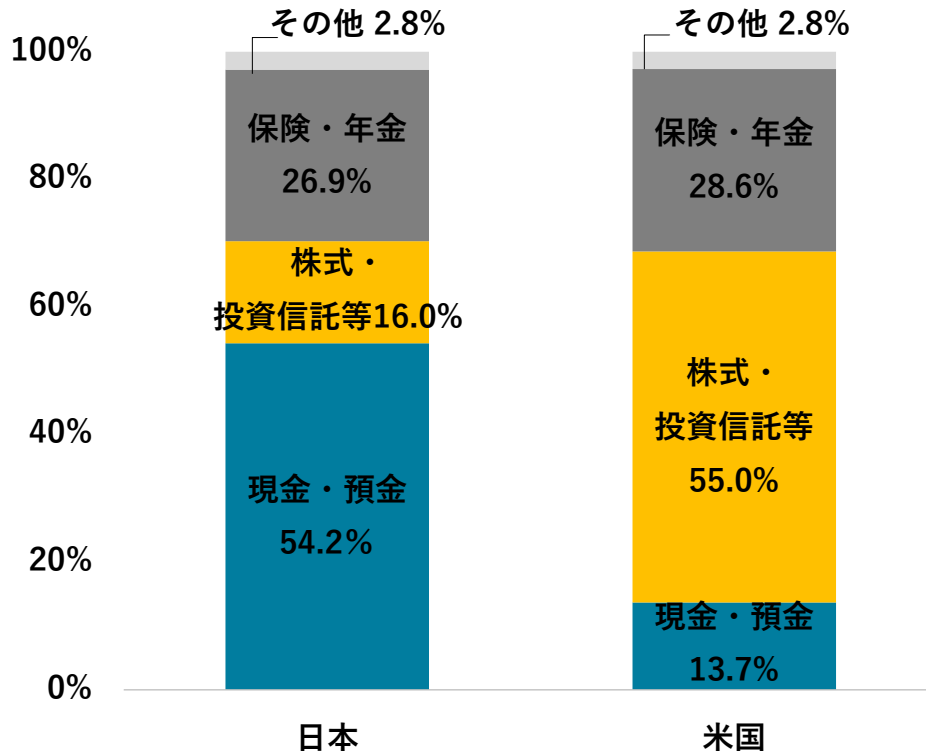


一生のなかでかかる主なお金と金融資産残高のイメージ



出所：プライダル総研、厚生労働省、住宅金融支援機構、文部科学省、日本学生支援機構、国土交通省、総務省の資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成
 【結婚】プライダル総研「ゼクシィ結婚トレンド調査2022調べ」【出産】厚生労働省「出産費用の実態把握に関する調査研究（令和4年度）の結果等について」【住宅購入】住宅金融支援機構「2022年度フラット35利用者調査」【教育】文部科学省「令和3年度子供の学習費調査」、日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果（令和3年度）」【住宅リフォーム】国土交通省「令和4年度住宅市場動向調査」【医療費】厚生労働省「令和2年度国民医療費の概況」【65歳までの生活費】総務省「家計調査年報2022年」（2人以上の世帯の生活費の45年間分）【65歳からの生活費】総務省「家計調査年報2022年」（2人以上の世帯の生活費の20年間分）※画像はイメージ図です。

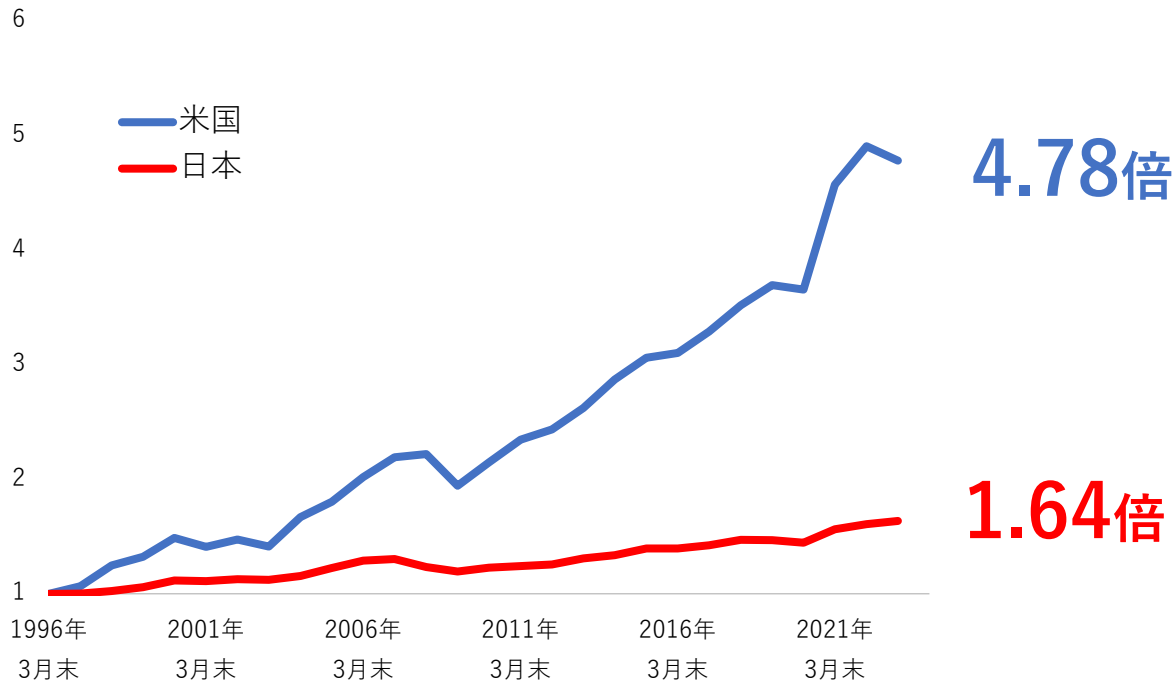
家計の金融資産構成
(金融資産合計に占める割合)



出所：日本銀行「資金循環の日米欧比較」を基に三菱UFJアセットマネジメント作成
時点：2023年3月末 ※合計が100%にならない場合があります。

家計の金融資産額の推移

(期間：1996年3月末～2023年3月末、年次 ※1996年3月末=1として算出)



1. 新しいNISAのポイントを確認
2. ライフプランに合わせた資産運用例

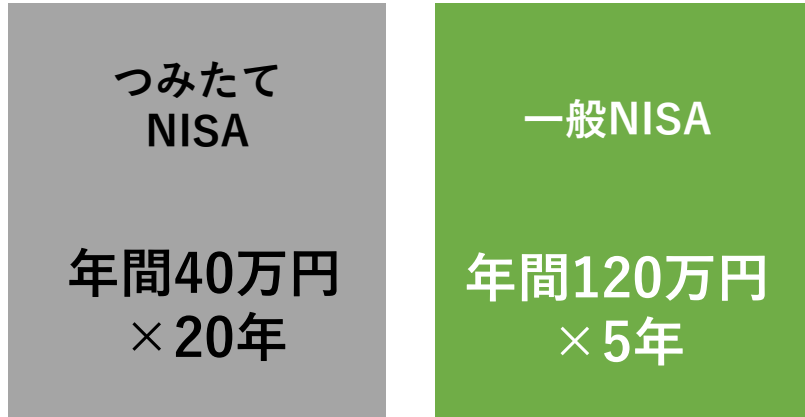
新しいNISAは使いやすい

- ① 一般NISAとつみたてNISA *の一本化が図られ、
つみたて投資枠と成長投資枠の併用可
- ② 口座開設期間と非課税保有期間の恒久化・無期限化
- ③ 年間投資枠の拡充

*ジュニアNISAでは、2024年以降新規投資ができなくなります。

新しいNISAは現行NISAより使い勝手が良い制度に

現行NISA



新しいNISA



← 選択式 →

年間**40**万円 or 年間**120**万円

+ 併用可

年間 合計**360**万円

口座開設期間と非課税保有期間の恒久化・無期限化

現行NISA

つみたてNISA

非課税保有期間
最長**20年**
口座開設期間
2023年まで

一般NISA

非課税保有期間
最長**5年**
口座開設期間
2023年まで

新しいNISA

つみたて投資枠

非課税保有期間
無期限
口座開設期間
恒久

成長投資枠

非課税保有期間
無期限
口座開設期間
恒久

年間非課税投資枠の拡充

現行NISA

つみたてNISA

非課税保有期間
最長**20年**
口座開設期間
2023年まで

一般NISA

非課税保有期間
最長**5年**
口座開設期間
2023年まで

新しいNISA

つみたて投資枠

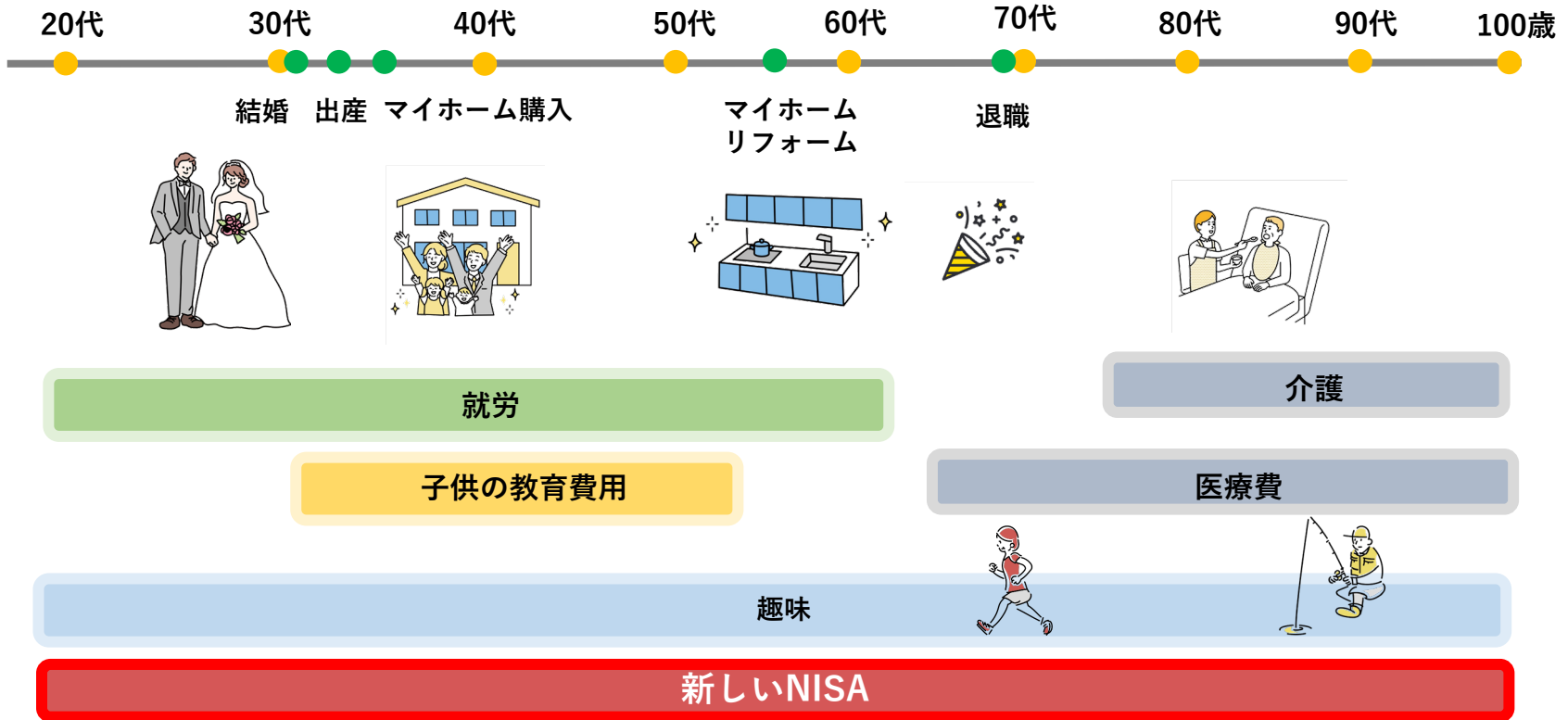
非課税保有期間
無期限
口座開設期間
恒久

成長投資枠

非課税保有期間
無期限
口座開設期間
恒久

非課税となる
生涯投資枠計**1,800万円**
(成長投資枠は**1,200万円まで**)

人生100年時代のライフイベントと新しいNISA



※ 上記は、一例であり、すべての方に当てはまるものではありません。

資産形成期（初期） 資産の基盤を作る

20代 プロファイリング



生活の 傾向

- ◆ 社会人生活スタート。まとまった資金はまだない
- ◆ 将来の選択肢が豊富で生活スタイルは未確定
- ◆ ネット等での情報収集が得意で世の中の動きに敏感

お金の 考え方

- ◆ 将来不安なので長期投資で今から備えたい
- ◆ 好きなことにお金を使いたい
- ◆ 投資を通じて、金融・経済について勉強したい

お金の 目的

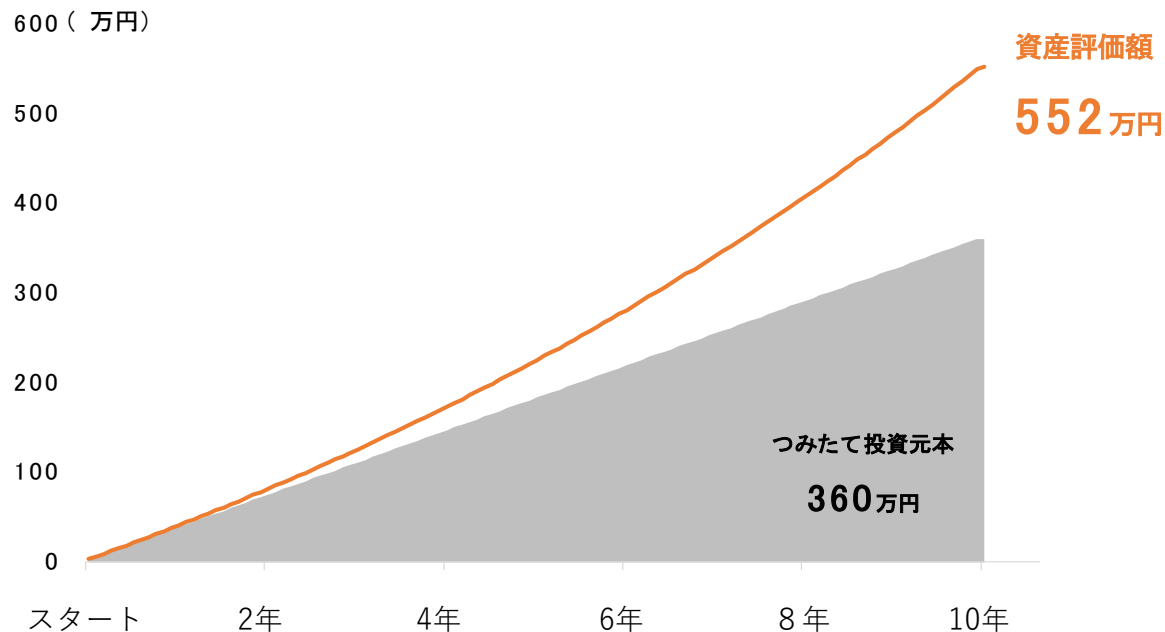
- ◆ 趣味の充実に
- ◆ 結婚資金
- ◆ 大きな買い物への備え
- ◆ 将来の為に投資

※ 上記は、一例であり、すべての方に当てはまるものではありません。

資産形成期（初期） 資産の基盤を作る

投資例 『500万円を目指して10年間、つみたてしてみたら？』

■ 毎月3万円を運用利回り年率8%で10年間つみたてた場合のシミュレーション



※ 上記は毎月末3万円をつみたて投資（最終月末を除く）したと仮定して試算しています。

※ 上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

資産形成期（中～後期）ライフイベントに応じた柔軟な切り替え

30代
プロファイリング生活の
傾向

- ◆ 自身の生活スタイルが固まりつつある時期
- ◆ 未婚・既婚、子どもの有無等により資産計画は大きく異なる
- ◆ 子育てや仕事が忙しく将来のことは後回しになりがち

お金の
考え方

- ◆ 住宅の購入など大きな買い物をする
- ◆ 家族にお金がかかり始め運用に回せるお金は限られる
- ◆ 転職やFIRE（早期リタイヤ）も視野に入れる

お金の
目的

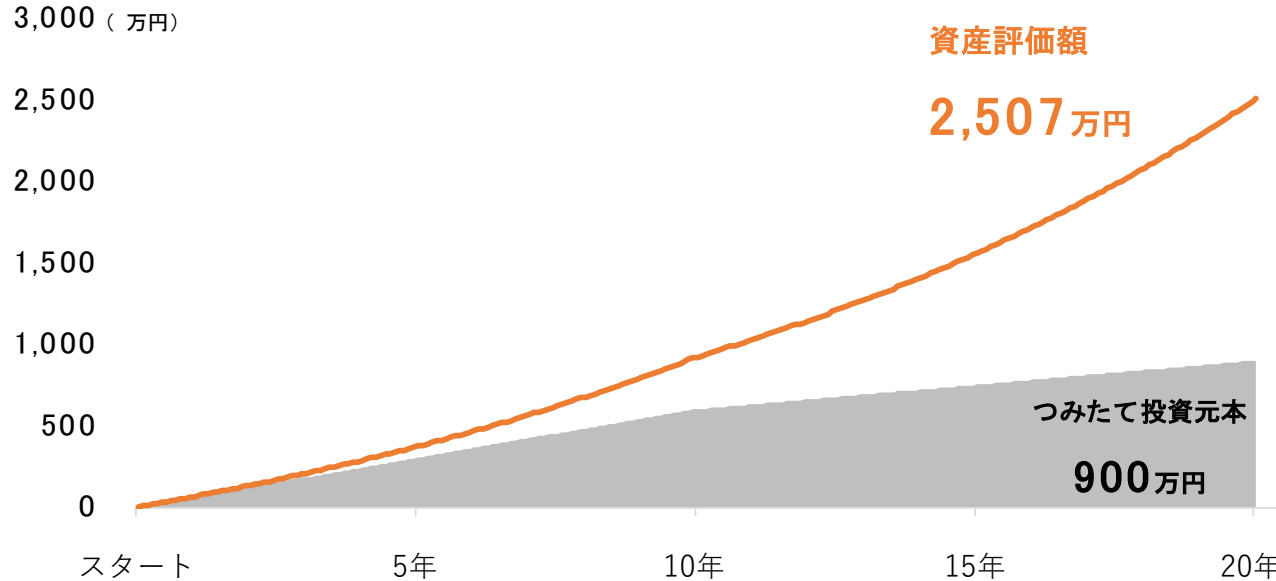
- ◆ 住宅購入資金の一部（住宅ローンの繰り上げ返済等）
- ◆ 子どもの教育資金
- ◆ 将来のための備え

※ 上記は、一例であり、すべての方に当てはまるものではありません。

資産形成期（中～後期）ライフイベントに応じた柔軟な切り替え

投資例 『ライフイベントに合わせて金額を変えながらつみたてしてみたなら？』

- 20年間のうち、前半10年が毎月5万円、後半10年が毎月2.5万円を運用利回り年率8%でつみたてた場合のシミュレーション



※ 上記は前半10年を毎月末5万円でつみたて投資（最終月末を除く）、その後10年を毎月末2.5万円でつみたて投資（最終月末を除く）したと仮定して試算しています。

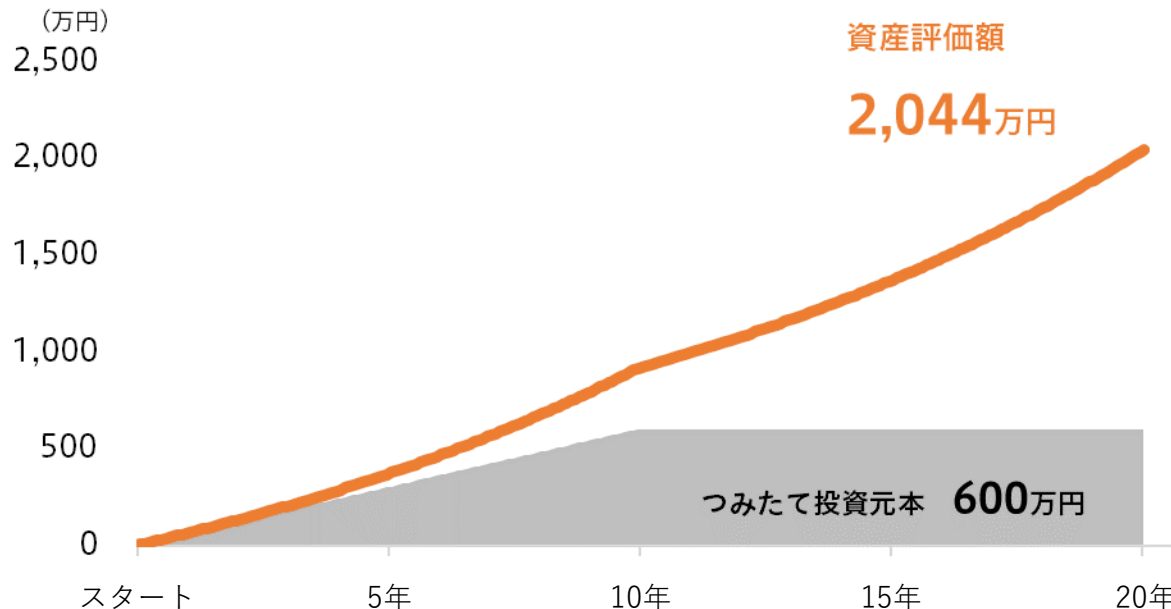
※ 上記は表示桁未満は四捨五入して表示しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

※ 上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

資産形成期（中～後期）ライフイベントに応じた柔軟な切り替え

投資例 『ライフイベントに合わせて金額を変えながらつみたてしてみたなら？』

- 20年間のうち、前半10年のみ5万円を運用利回り年率8%でつみたて投資、その後はつみたて投資を中止した場合のシミュレーション



※ 上記は当初10年のみ毎月末5万円をつみたて投資（最終月末を除く）したと仮定して試算しています。

※ 上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

資産形成期（中～後期）自分自身の将来に向けた準備

40代
プロファイリング生活の
傾向

- ◆教育資金や住宅ローン等、支出はさらに多くなる時期
- ◆将来が気になるが、忙しく後回しになりがち
- ◆転職・起業等の大きな選択も視野に入れる

お金の
考え方

- ◆老後について漠然とした不安を抱えている
- ◆運用に回すお金があるならローンを返済したい
- ◆お金について考える時間もないし、資産運用はまとまったお金がないとできないと思っている

お金の
目的

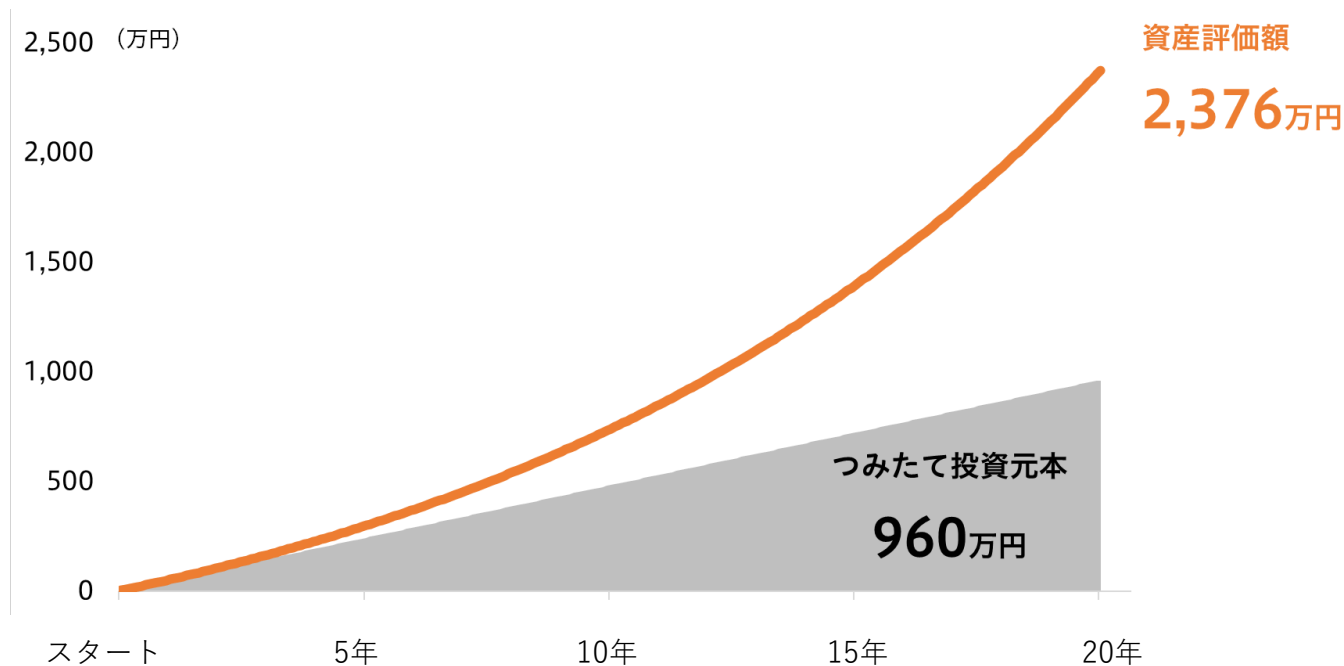
- ◆教育・住宅ローン等返済
- ◆老後に向けた準備
- ◆転職・起業・FIRE等を後押しするための資金作り

※ 上記は、一例であり、すべての方に当てはまるものではありません。

資産形成期（中～後期）自分自身の将来に向けた準備

投資例 『20年間で2,000万円準備するためにつみたてしてみたら？』

■ 20年間、毎月4万円を運用利回り年率8%でつみたてた場合のシミュレーション



※ 上記は毎月末4万円をつみたて投資（最終月末を除く）したと仮定して試算しています。

※ 上記は表示桁未満は四捨五入して表示しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

※ 上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

ローン返済と資産形成、どちらを優先する？

30年間の家計収支比較



Aさん
返済終了後に運用開始

【条件】住宅ローン金利1.6%、返済金額2,000万円

- ① 毎月10万円ずつ返済
- ② 約19年5カ月（233カ月）でローン全額返済

○ 総返済額 **2,328万円**

ローン返済額：Aさんの方が191万円少ない



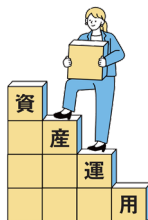
住宅ローン



【条件】住宅ローン完済後、毎月10万円を運用利回り年率8%でつみたて投資

- ① 10年7か月（127か月）つみたて投資を実施

総資産評価額 **1,988万円**



Bさん
返済と運用を同時進行

【条件】住宅ローン金利1.6%、返済金額2,000万円

- ① 毎月約7万円で返済した場合、
- ② 30年（360カ月）でローン全額返済

総返済額 **2,519万円**



【条件】毎月3万円を運用利回り年率8%で積立投資

- ① 30年（360カ月）、つみたて投資を実施

○ 総資産評価額 **4,504万円**

資産評価額：Bさんの方が2,516万円多い

※ 上記は、一例であり、すべての方に当てはまるものではありません。

※ 上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

50代
プロファイリング



生活の
傾向

- ◆ リタイア後の生活について真剣に考える時期
- ◆ 仕事とライフスタイルのバランスも重要
- ◆ 子どもの独立や結婚、親の介護等、家族との関係にも変化

お金の
考え方

- ◆ 退職に備えて（すでに退職しているので）、資金を有効に生かしたい
- ◆ 準備をしていなかった場合大きく後悔
- ◆ 定期的な収入は今後減少していくため、大幅な目減りは困る
- ◆ 年金の補完やインフレ対策も考えておきたい

お金の
目的

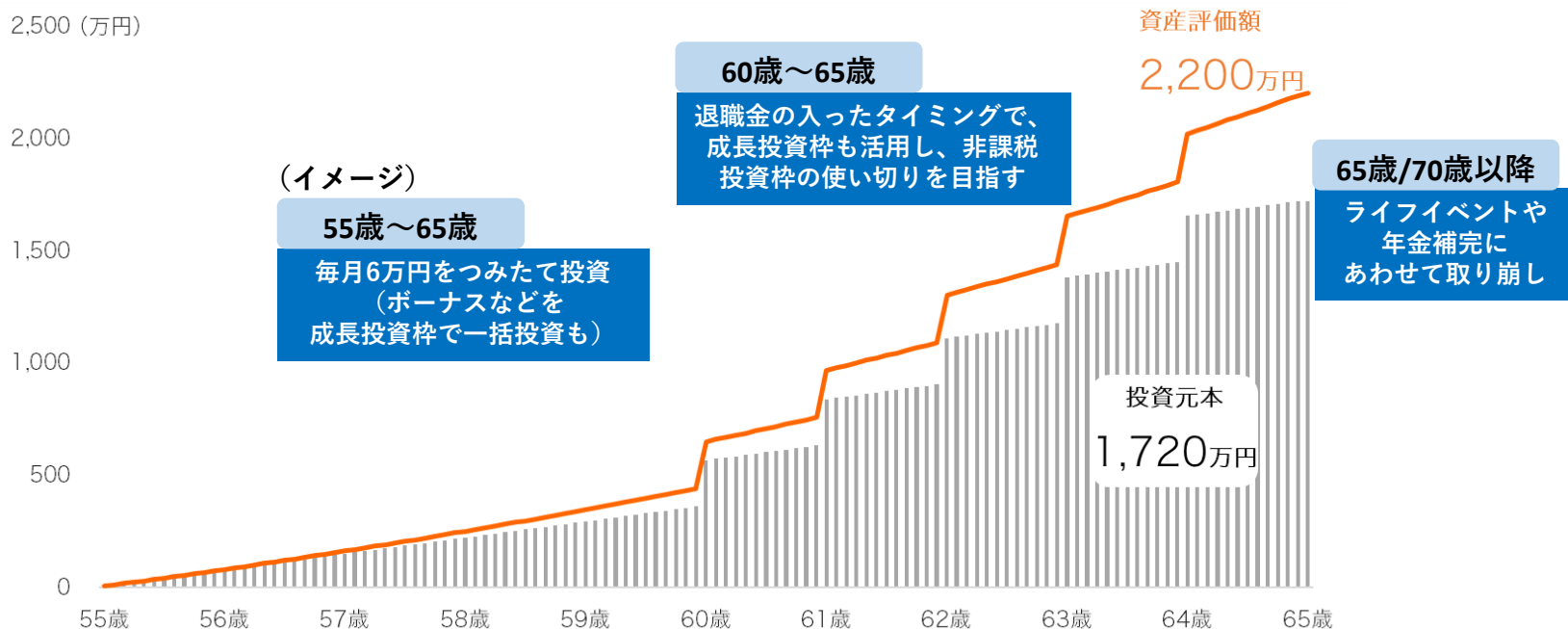
- ◆ 生活資金の補完、趣味の充実に
- ◆ 老後の資金
- ◆ 将来（住宅リフォームや介護等）の備えに

※ 上記は、一例であり、すべての方に当てはまるものではありません。

投資例 「完全リタイア前の10年で2,000万円を作るには??」

条件① 55歳から10年間、毎月6万円を運用利回り年率8%でつみたて投資

条件② 60歳で退職金を受け取り、60歳から5年間、毎年200万円を運用利回り年率3%で投資した場合のシミュレーション



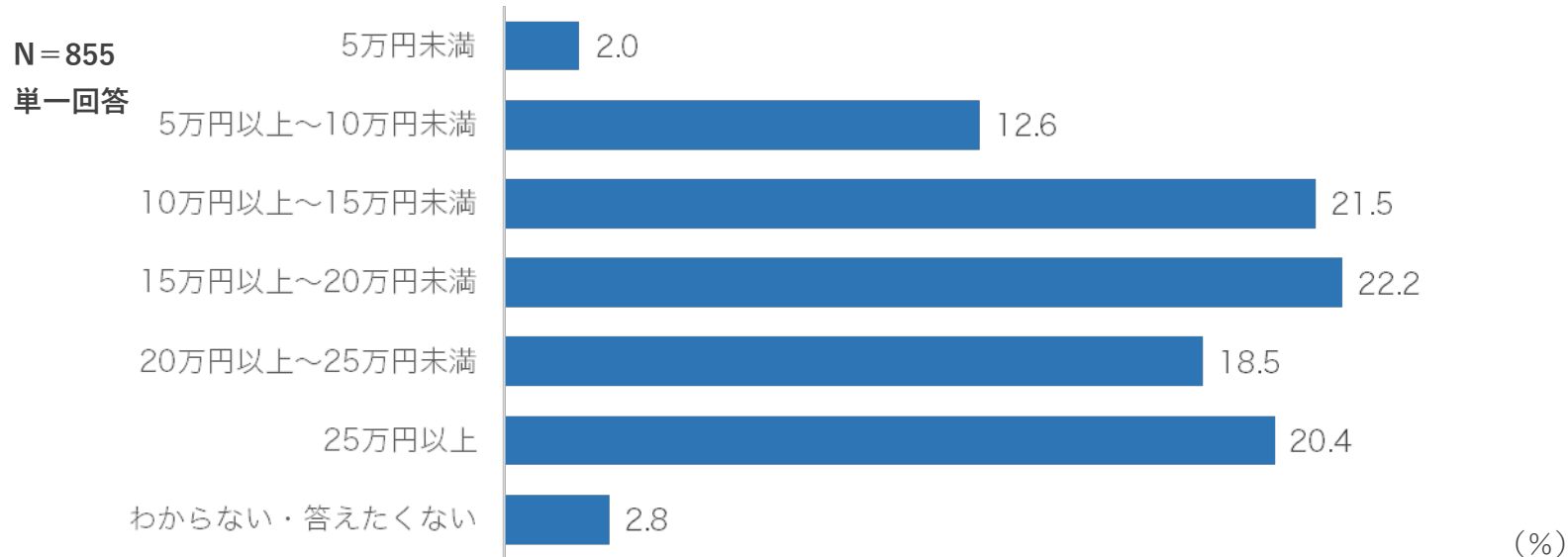
※ 上記は55歳～64歳まで毎月末6万円をつみたて投資（最終月末を除く）、60歳～64歳まで毎年年初に200万を一括投資したと仮定して試算しています。

※ 資産評価額は、つみたて投資と一括投資を合計して算出しています。

※ 上記は表示桁未満は四捨五入して表示しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

※ 上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

Q. 現在（前職を退職後）の、1か月あたりの平均生活費として、最も近いものを教えてください。

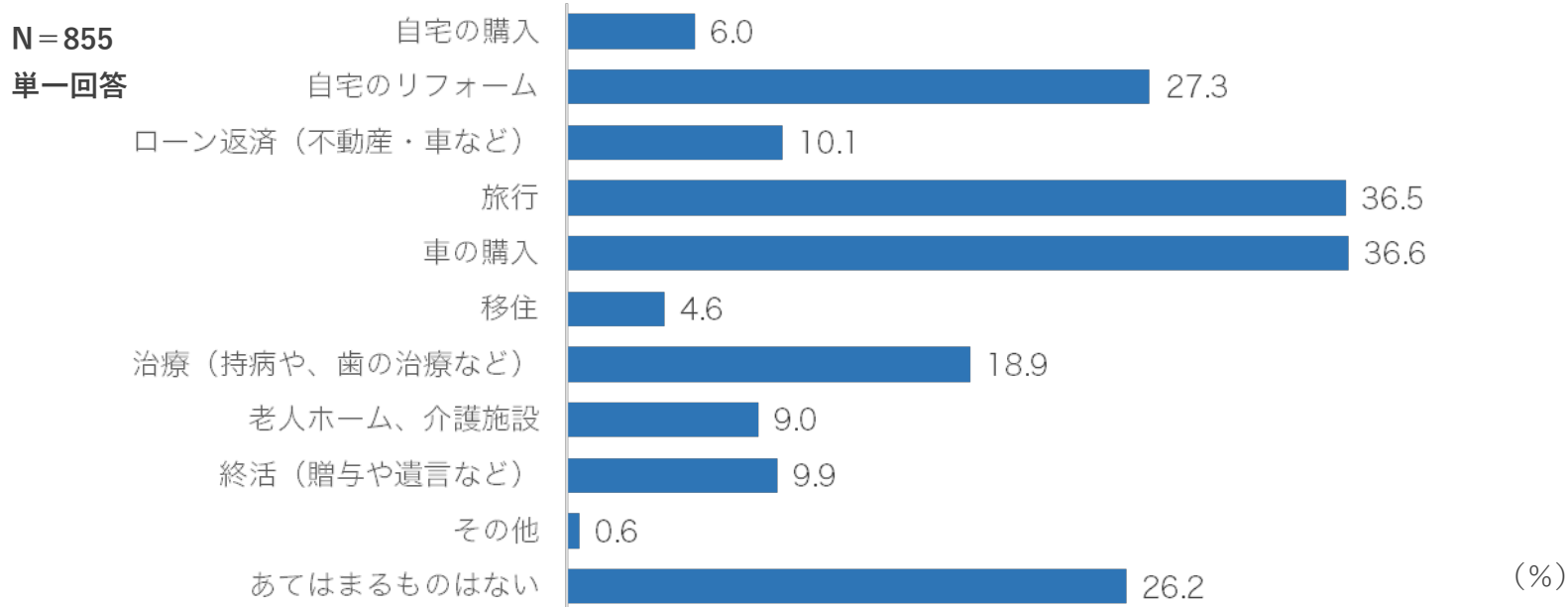


※生活費…突発的な出費を除いた、水道、光熱費、家賃（ローン返済含む）、通信費、食費、娯楽費などのあなたが普段生活するうえで掛かる金額の合計

出所：三菱UFJアセットマネジメント実施アンケート（2022年12月中旬に調査を三菱UFJアセットマネジメントが実施。サンプル数は855人。内訳は、50代146人、60代709人。調査対象者は全国・男女・50歳～で1年以内に退職された方。）

※紙面の都合上、実際の設定問を短く書き換えている、あるいは全ての選択肢を表示していない場合があります。

Q. 前職の退職後に購入した、もしくは今後（も）予定・検討している高額な出費を教えてください。



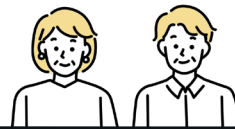
出所：三菱UFJアセットマネジメント実施アンケート（2022年12月中旬に調査を三菱UFJアセットマネジメントが実施。サンプル数は855人。内訳は、50代146人、60代709人。調査対象者は全国・男女・50歳～で1年以内に退職された方。）

※紙面の都合上、実際の設定を短く書き換えている、あるいは全ての選択肢を表示していない場合があります。

資産活用期 『使う』・『遺す』

60代

プロファイリング

生活の
傾向

- ◆ 仕事を継続しつつ、趣味や地域活動などの時間を徐々に増やしていく生活
- ◆ 健康や体力面に不安を抱えている
- ◆ 家族の介護などの問題

お金の
考え方

- ◆ 年金の受取額や預貯金の金利に不満（生活費の負担を実感）
- ◆ 資産が枯渇する不安
- ◆ 定期的な収入がほしい、資産を増やしながらいきたい
- ◆ 子や孫への贈与・相続も視野に入れる

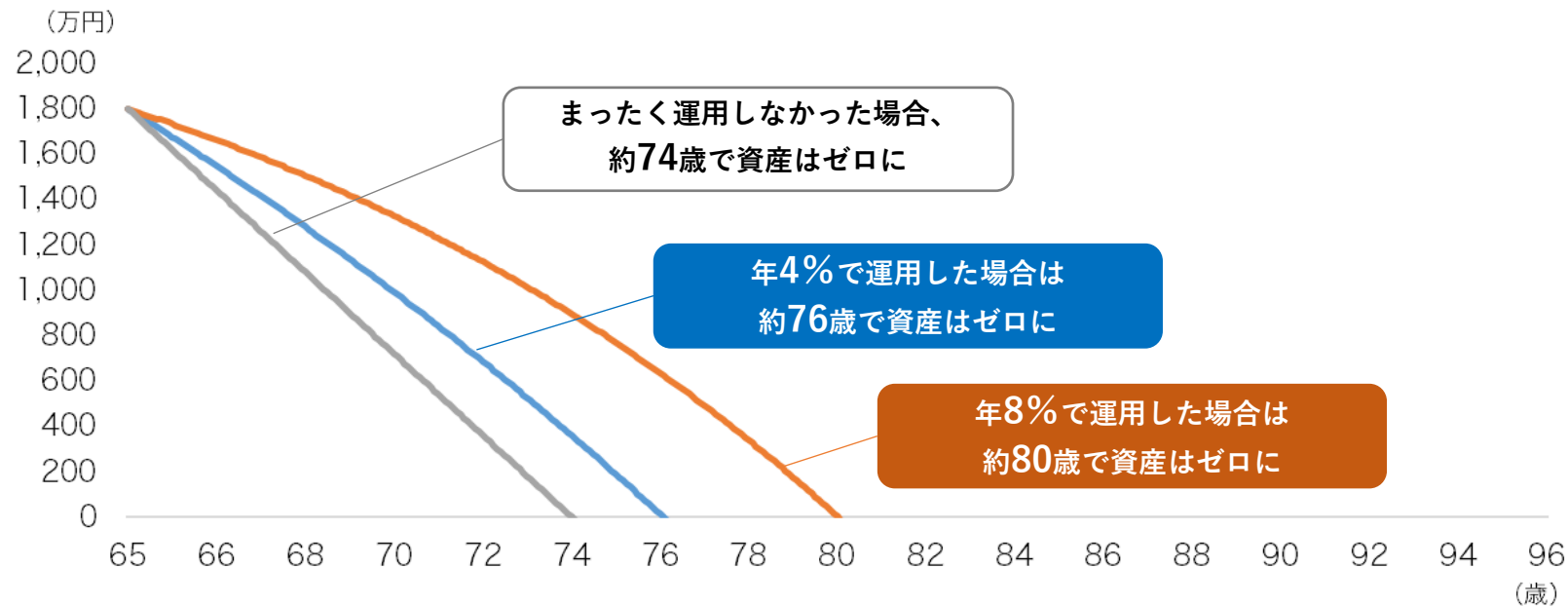
お金の
目的

- ◆ 趣味や医療費、生活費など
- ◆ 子や孫の行事のために
- ◆ 計画的な取り崩し
- ◆ 家族への円滑な資産移転

※ 上記は、一例であり、すべての方に当てはまるものではありません。

資産活用期 資産を取り崩して使う

元金1,800万円を毎月15万円ずつ取り崩した場合のシミュレーション



※ 取り崩し額15万円：生命保険文化センター「令和元年度 生活保障に関する調査」の老後のゆとりのための上乗せ額の金額を参考にしています。
※ 上記シミュレーションは、月末元金 = 月初元金 + (月初元金 × 運用利回り (年率) ÷ 12 × 0.8*) - 月末取り崩し額で算出しています。*税率20%を適用しています。
※ 上記は試算であり、実際の運用とは異なります。

留意事項

投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時（ファンドによっては換金時）に直接ご負担いただく費用

購入時（換金時）手数料…上限3.30%（税込）

※一部のファンドについては、購入時（換金時）手数料額（上限38,500円（税込））を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額…ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）…上限年率3.41%（税込）

（有価証券の貸付の指図を行った場合）

有価証券の貸付の指図を行った場合には品貸料がファンドの収益として計上されます。その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取る場合があります。この場合、ファンドの品貸料およびマザーファンドの品貸料のうちファンドに属するとみなした額の上限55%（税込）の額が上記の運用管理費用（信託報酬）に追加されます。

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他の費用・手数料…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJアセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

本資料に関してご留意いただきたい事項

- 本資料は、NISA制度の概要についてご理解いただくために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご留意ください。
- くわしくは、三井住友銀行店頭の各商品の説明書等を必ずご覧ください。

■提供者



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号

加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■資料作成者

三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会